



ペットボトルを使^{つか}って洋服^{ようふく}ができるの

ペットボトルの原料^{げんりょう}

ペットボトルは、ジュースやコーラの入れ物^{いものつか}に使^{つか}われていますね。ペットボトルは、軽^{かる}くて、強^{つよ}くて、美^{うつく}しいといった特長^{とくちょう}をもっているの^{ので}、大量^{たいりょう}に使用^{しよう}されるようになってきました。ペットボトルの原料^{げんりょう}は、プラスチックの一種^{いっしゆ}であるポリエチレン・テレフタレート（ペット樹脂^{じゆし}）です。

ペットボトルのリサイクル

回収^{かいしゆう}されたペットボトルは、再生工場^{さいせいこうじよう}に運^{はこ}ばれます。工場^{こうじよう}でくだかれ、細^{こま}かい破片^{はへん}になったあと、洗^{あら}われて、さらさらの白^{しろ}くてうすいかけらとなります。この素材^{そざい}から、食用品^{しょくようひん}以外のプラスチック製品^{せいひん}に再生^{さいせい}され、ふたたび、お店^{みせ}にならぶようになるのです。

とかしてポリエステル繊維^{せんい さいせい}を再生^{さいせい}する

最近^{さいきん}、ペットボトルをと^とかして、そこ^{そこ}から、衣類用^{いるいよう}のポリエステル繊維^{せんい さいせい}を再生^{さいせい}する技術^{ぎじゆつ}が開発^{かいぱつ}されました。この繊維^{せんい}で作^{つく}ったトレーナーや、防寒衣料^{ぼうかんいりよう}も発売^{はつぱい}されています。これ^{これ}までにも、ペットボトルから、カーペット用^{よう}のポリエステルが再生^{さいせい}されたことはありますが、技術^{ぎじゆつ}の進歩^{しんぱ}で衣類用^{いるいよう}の繊維^{せんい}も再生^{さいせい}されるようになったのです。（監修・田代 脩）

